

表 8 再生産率の推移

出生率は、昭和 46 年以降減少傾向を示してきており、再生産率をみると、年齢階級別の合計である粗再生産率（合計特殊出生率）では 1.31、また、女子だけの年齢階級別出生率の合計である総再生産率は 0.63 と、将来人口の増減の境界である 1 を下回っている。

	平成 15 年	16	17	18	19	20	21
出生数	13,175	13,331	12,845	13,648	14,051	14,399	14,276
出生率	10.4	10.4	10.0	10.5	10.6	10.7	10.4
粗再生産率（合計特殊出生率）	1.23	1.24	1.19	1.26	1.29	1.32	1.31
総再生産率	0.59	0.60	0.58	0.61	0.62	0.64	0.63
純再生産率	0.59	0.60	0.57	0.61	0.61	0.63	0.63

注）純再生産率の算出については、当該年の川崎市生命表を用いた。

資料：庶務課「人口動態調査（指定統計）」より